

(再開 午前11時25分)

議長（勝山 正）

休憩前に引き続き会議を開きます。

8番 山崎栄喜 議員。

(「はい、議長。8番。」の声あり)

(8番 山崎栄喜 議員 登壇)

1. 第7次総合振興計画実施計画について

8番 山崎栄喜 議員

発言を許されましたので、通告に基づき3項目について質問します。

最初の質問、第7次総合振興計画実施計画について質問します。

11月21日に開催された議会全員協議会に、第7次総合振興計画の実施計画が示されました。

この計画は、令和7年度から令和10年度までの4年間に村が行う事業をまとめたもので、これが向こう4年間の村の予算にほぼ連動することとなります。

実施を予定する事業数は、一般会計分が625件、観光施設などの特別会計分を含めると686件あり、令和6年度の計画と比較して48件増えています。率にすると、昨年比107.5%となります。

一言で言うと、積極的な投資と言える反面、歳入に対して歳出が多く、基金頼りの財政運営となっています。

そこで、次の点について村長に伺います。

1点目、池の平地区に集落支援員を置く計画がありますが、池の平だけに置く目的、理由は何か。また、池の平以外の区に対する支援について伺います。

議長（勝山 正）

日暮村長。

村長（日暮正博）

それでは、第7次の総合振興計画についてのご質問ではありますが、今議会にお示ししました実施計画は、第7次総合振興計画に位置づけられた重点プロジェクトを含め、村が進める今後4年間の事業計画等を示したものであります。

重点プロジェクト関連事業については新規に計画したものや拡充したものもあります。厳しい財政状況であることは十分承知をしておりますが、「誇りと愛着を育み、一人ひとりが希望を持てる木島平～誰もが暮らしやすい持続可能な村～」の実現に向けて、議員各位を始め、村民の皆様のご意見をお聞きしながら、課題解決に取り組んでまいりたいと考えております。

通告いただきましたご質問について、総務課長に答弁をさせます。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

それでは、村長の答弁に補足して、集落支援員の内容についてご説明いたします。

本実施計画でお示ししました集落支援の計画については、池の平地区の地区づくり計画において、高齢化や人口減少により、集落の維持が困難な状況から地区への支援要望があり、集落支援員の設置を計画したものでございます。

しかしながら、人材確保など多くの課題があり、今後、相談しながら実現に向けて協議を進める状況です。

また、ご指摘のありましたほかの地区の関係でございますが、当然、池の平地区以外の区に対してもご要望があれば支援は行っていく方針であり、各地区の特性に応じて柔軟に対応してまいります。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

再質問させていただきますが、高齢化や少子化は池の平に限った問題ではありません。全村的な問題でございます。私の地元もかなりその辺は進んでおりまして、少子高齢化は池の平に限った問題ではないと思いますが、そこで、具体的な池の平で行う業務についてお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

ただいまのご質問でございますが、具体的な業務というよりも、池の平地区から要望があったのは、区が自治区として維持するのは非常に厳しい状況になっているというご意見をいただいた中で、支援員の計画を取ったものでございます。したがって、現時点でこの支援員の方がどんなものをしていくか、そういった詳細な内容については、現時点では詰まっておりますのでよろしくお願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

区の維持が難しいという答弁でございました。

ですが、私も区長を2回経験しておりますが、集落支援員を専任でおくほど業務量があるとは思えません。その辺についてお答えをお願いします。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

現時点の計画内容でございますが、基本的には専任という位置づけは考えてございません。

今回、実施計画の中で年間ベース200万円程度を計画計上しております。集落支援員の場合、兼任となりますと年間40万円という枠がございますので、その中をベースに考えてございます。

計画上、池の平という地区名は出ましたが、ほかの地区も視野に入っているという計画内容でございますし、地区そのものがどういった業務があるか、また、どういった業務を地区がその支援員にお願いするのか、その辺については、今後、調整、相談させていただきながら実施に向けて協議を進めていきたいと思っております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

行政は公平公正であるべきと私は思っておりますが、その辺について、各区も区長さんの受け手もそうですし、事務処理もなかなか大変だと、できれば会計はできる人に何年もやってもらいたいというような意見もございます。その辺を踏まえて、運用にあたっては適切にお願いしたいと思います。

2点目に、社会福祉協議会の決算は過去4年間連続しての赤字であり、その額は1億円を超え、特に令和5年度は3,700万円の赤字でありました。

さきの9月定例議会における一般質問で、村長からは「社協の自助努力で最大限の経営改善を求めながら、その役割を十分果たせるよう支援する」と答弁されました。

そこで、社協から経営改善計画書が提出されたのか、また、村の実施計画書に具体的な支援を盛り込んであるのかお尋ねします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

それでは、社会福祉協議会についてであります。社会福祉協議会は村の高齢者福祉にとって重要な役割を担っております。ただし、経営状況が大変厳しいということは認識しております。基金等の推移を見ながら、必要な時期に経済的支援もしくは人的な支援が必要と考えております。

細部について、担当課長に答弁をさせます。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

それでは、私の方から経営改善計画及び実施計画の関係等のご質問についてお話しします。

経営改善計画については現時点では確認をしておりませんし、具体的な支援策が示されていない状況でございます。したがって、今回お示ししました実施計画には計上はしてない状況です。

村としては、引き続き経営改善をお願いするとともに、村民の皆様の福祉維持のために、経営改善を支援するための具体的な施策を今後講じていく所存でございます。

よろしく申し上げます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

社協が大事ということについては私も共通認識でございます。

しかしながら、社協の基金は、このままではあと二、三年で底をつくというような説明を社協から聞いております。赤字については、先ほど申し上げたとおりでございますが、これが今後どうなるか見守っていく必要があると思っておりますが、いずれにしろ、相当の額になるのではなからうかと思うわけですが、それは私の危惧であればよろしいんですが、具体的な金額が盛り込んでありませんのでということでございますので、どのぐらい影響が出るかっていうことは、一応留保させていただきたいと思っております。

3点目に、道の駅再整備方針では、令和8年度に実施設計計画、そして、令和9年度に現施設の一部解体と新施設の建設工事の発注を予定していますが、実施計画には項目出しだけで、金額の記載がありません。再整備を行う場合に、作成した実施計画の事業に影響を与えないかお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

実施計画につきましては、今後の方針に基づいて試算された概算金額を基に計上しております。

しかし、現時点、道の駅につきましては施設規模も決まっておりません。そのため、現時点としては項目のみということになっております。

今後、具体的な内容や金額が確認できた時点で、実施計画への計上となりますが、金額が大きく、補助金等の財源が確保できない場合は、現状の財政計画等への影響も考えられます。そのため、具体的な計画策定によっては、当然、充当可能な財源確保の検討も含め、一般財源の負担をできるだけ軽減する必要があると考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

今年の6月議会一般質問で、この整備について4億円という具体的な数字の答弁がありました。4億円で済むかどうかというのはまた別の問題でございますが、具体的な数字が出されたわけでございます。ですので、今回のこの計画書に金額の記載ができたのではないかと私は捉えておりますが、それについて見解をお願いいたします。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

産業企画室長（本山 等）

先ほど、4億円の事業費ということでお話ございましたが、この事業費についてはあくまでも、担当者が概算というか、こんな程度だろうということで提示した額であります。その提示した経緯も、山崎議員の方から「ある程度把握しているんじゃないか」というご質問をいただいたうえで、あくまで担当者としての見解でございます。その内容につきましても、建物の外構ですとか、そういったものを含んでいない、あくまで建物を作った場合に、この程度考えられるんじゃないかということで説明した金額でありますので、よろしくをお願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

私も4億円がこのままずっといくとは思っておりません。当然、変わる要素はいっぱい出てくると思いますが、ましてや外構工事等を含んでいないということでありますと、それは一般財源になる可能性もあるわけですね。そうなってきた場合に、今計画に盛り込んであります事業に影響が出ないかどうかお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

ご指摘のとおり、先ほど村長も申し上げましたが、一般財源が多額に生じる計画になりますと、当然、財政計画全体の中で影響が出ることは事実でございます。

ただ、その年度等によっても変わりますので、先ほど担当室長が申し上げたとおり、現時点での不透明な要素の中では金額は計上しないということになります。

先ほども申し上げましたが、影響がないかあるかっていう話になれば、一般財源の額の大きさによっては当然影響が出てくると認識しております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

私は、先ほど申し上げたとおり4億円にこだわっているわけじゃありませんが、その辺はやってみないとわからない部分もありますが、いずれにしろ計画に盛り込んだ方が、やっぱり財政運営性、計画行政を進めるうえでは大事なんだと私は思いますが。

4点目の質問であります。馬曲温泉の新源泉掘削を令和10年度に2億5,000万円をかけて行う計画がありますが、過去の一般質問の答弁では、掘削有望場所は露天風呂下の駐車場の奥ということでありました。しかしながら、そこは今の源泉の近くであり、湯量が懸念されるところでございます。大丈夫かどうか疑問がございまして。前の温泉も1,000m以上掘ったわけでございます。

また、掘削の費用でございますが、これも高騰しているという話を聞いておりますが、記載の金額でやっていけるのかどうかお聞きしたいと思っております。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

ご質問についてお答えします。

物価高騰が続いている現状から、掘削費用についてもご指摘のとおりと考えております。

掘削費用については今後の市場動向を注視するとともに、実施に当たっては財源確保が大変重要と考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

先ほどの質問で、湯量の問題をお尋ねしたんですが、それについて答弁がございませんでしたのでお願ひします。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

大変失礼いたしました。湯量の関係でございます。

今調査をして、次の源泉候補とお話をさせていただいているのが、下段の駐車場の少し奥という形になります。ただ、具体的な詳細な位置はまだ決めておりませんので、今の源泉からは少し離れてお

ります。

新しい源泉を掘るといった場合については、今の源泉を使わない前提で新しい源泉を掘るというふうに今のところ計画をしておりますので、今の源泉の湯量の影響はないと考えています。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

同じ源泉になるか、別の源泉になるか、これは掘ってみないとわからないのが実情だと私は思いますが、ぜひ別の源泉であって、自噴し、適当な温度で出てもらえたと期待するものでございます。それは、もうちょっと先まで伸ばしたいと思います。

それから5点目に、村外事業者施工の賃貸住宅について金額の記載がありませんが、建設を断念されたのか。また、村内業者と同一の補助額に引き上げてでも建設を誘導した方が、村の財政負担が少なくて済むと思いますが、見解をお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

住宅関係の実施計画の内容でございます。

賃貸住宅建設補助については、村内事業者、村外事業者を含めて1事業として、今回、実施計画に計上させていただきました。これまでの補助上限額を引き上げた内容となっており、事業実施にあたっては、村内外で補助率や上限金額については変わるかもしれませんが、いずれの事業者へも補助していくことを想定してございます。

いずれにしても、移住定住促進のための施策を推進していきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

それでは、具体的に、村外の事業者には、どのようなPRを行ってこられたのかどうかをお聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

小松建設課長。

建設課長（小松宏和）

賃貸アパート等の補助金に関しましては、村のホームページ、また広報等でPRしているところでもありますけれども、この情報を基に、一部、建設系の新聞にも掲載されたということで伺っておりますし、見たということで村外事業者の皆様からの問い合わせ自体は今までもあったと。ただし、申請には結びついていないというような状況でございます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

過去に、木島平村の水道料金が高いから、村外業者は木島平村にアパートを作らないという話を聞いたことがございます。

しかしながら、令和5年4月1日時点の木島平村の水道料金は高い方から11番目ですが、隣の市は4番目になっておりまして、現在は木島平村の方が安いわけでございます。その点も理解をいただいている部分があるんだろうと思います。

そこで、積極的なPRをしていく必要があるのではないかと思います、取り組む方針についてお尋ねをしたいと思います。

議長（勝山 正）

小松建設課長。

建設課長（小松宏和）

補助金額につきましても上げていくという方向のところでございますが、現在、検討しております。決定次第、それぞれホームページ等で、村内については広報等で周知したうえで、なるべく外へと発信できるような形で対応していきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

私は補助金の額の話をしたんじゃないじゃなくて、結果、水道料金の値段が木島平の方が安い、それを誤解されている事業者がいるということで、そちらにそういうようなPRをしていく必要があるのではなからうかということ、尋ねたわけでございます。

議長（勝山 正）

小松建設課長。

建設課長（小松宏和）

今まで、水道料金が高くて木島平に建てられないというようなことで伺ったことはありません。また、そのような経過があったかどうかちょっと定かではありませんけれども、料金につきましては、いつの時代も公表しているという状態でありますので、ちょっとその高いってというような流れがどういう流れであったかどうかにつきましては、ちょっとわからないのでお答えはできません。

議長（勝山 正）

ここで暫時休憩します。

再開は、午後1時とします。

(休憩 午前11時50分)

(再開 午後1時00時)

議長（勝山 正）

休憩前に引き続き会議を開きます。

山崎議員。

2. 財政計画について

8番 山崎栄喜 議員

それでは、2番目の質問、財政計画について質問します。

11月21日の議会全員協議会に、計画期間が令和7年度から令和10年度までの4年間の財政計画が示されました。

これによると、令和7年度から令和10年度までの4年間の一般会計歳入合計から歳出合計を差し引いた収支不足額の合計は、16億2,034万円になります。1年平均で、実に4億508万円が不足することになります。

そして、普通会計の基金残高の推計によると、財政調整基金が令和5年度決算額では9億9,346万円あるものが、5年後の令和10年度には1,230万円と大幅に減少し、ほぼ底をついてしまう見込みがあります。これは、5年間で9億8,167万円、1年平均では1億9,623万円と約2億円近く減少することとなります。

これもスキー場やホテルパノラマランド、馬曲温泉などの観光施設に過去1年間平均1億円以上を投資してきたものが、民営化により浮いたにも関わらずであります。

そこで、次の点について村長に伺います。

1点目、観光施設に使われていた1億円余はどう使われたのかお答えをお願いします。

議長（勝山 正）

日臺村長。

村長（日臺正博）

観光施設に使われた1億円ということではありますが、観光施設の民営化に伴う財源につきましては一般財源でありますので、どこに充当したかということを示すことはできません。

今後、重点課題として取り組む少子化対策など村独自の事業を充実させていきたいと考えておりますが、働き方改革やデジタル化などこれまでの想定以上に経費が増加をしております。

細部について、担当課長に答弁をさせます。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

それでは、私の方から村長の答弁に補足して、増加した経費等についてご説明いたします。

まず、人件費でございますが、会計年度任用職員の処遇改善、そして、正規職員についても人事院勧告を踏まえて再積算したところ、単年度当たり6,000万円程度の増加となっております。

また、単独事業の中では、システムの標準化に伴うガバメントクラウドへの移行による整備費が上がっており、そのうち利用料が令和7年度から自治体負担となっております。村では単年度3,000万円の利用料を見込んでおります。そのほか、村民へのスキー場リフト券補助などの拡充に伴いまして、増額している状況です。

いずれにしても、物価高騰を踏まえて、かなりの額が上昇したという結果となっております。これが主な要因と考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

いろいろ増えている要素がございます。それはやむを得ない部分がございますので、致し方ないということですが、②の質問でございます。

現代は行政需要が増大しておりまして、村長としてやりたいことも多くあると思います。また、各区や議員からもたくさんの要望があります。そしてまた、消滅の可能性のある自治体ということもございます。そこからの脱却への取組も大変大事な問題だと思います。

一方、基金頼りの財政運営となっており、今後5年間に基金が大幅に減少することを考えると、村の将来に対して不安にかられます。

基金減少に対する村長の見解と、基金に依存する財政運営で将来にわたって健全財政が維持できるのかどうかお尋ねをいたします。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

それでは、ご質問にお答えしたいと思います。

財政計画でございますが、あくまでもお示ししました実施計画に基づいて作成しているものでございます。事業によりまして、あくまで盛り込んだ事業費は100%執行し、不用額が発生しないことを前提としております。また、一般財源については、当村で最も比率の高い普通交付税を現在の交付ベースより約1億9,000万円ほど低く見積もっております。また、特定財源としての各種交付金や国・県の補助金、地方債を活用し、一般財源に過度な負担が生じないようにしております。

その中で、収支不足額については、基金を取り崩していくとこうなりますという推計を示しているものでございます。実際に、ここ数年の決算では、庁舎建設を行った令和元年度と役場跡地整備の事業や災害復旧の事業を進めた令和2年度決算で基金は減少しているものの、その他の年度においては、基金の残高はおおむね前年度微増となっております。

また、財政計画の中で、実質公債費比率、将来負担比率の推計もしてございますが、数値に関しましては、各年度早期健全化基準を下回っている状況で問題なしとなっております。

今後、予算編成、そして、実際に事業を執行していく過程において各課で事業を今一度精査し、経費節減に努めるとともに、将来にわたって過度な負担が生じないよう健全な財政運営の維持を目指してまいります。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

今答弁をいただきましたが、不用額は当然出るだろうと思います。

しかしながら、先ほど答弁にありましたように、人件費も毎年人勸があります。完全実施していくとそれ相応の額が生じてきます。また、まだはっきりしていない段階でございますが、社協の支援金も必要になってくるだろうということ、あるいは道の駅の費用、こういうものがいろいろかかる、それは今のこの中に入っていないわけですが、そういうことからすると、非常に心配なところがあるわけです。

繰越金があるのはもちろん承知しております。繰越金のお話をすると、令和5年度決算額では、財政調整基金の取崩額が4億9,164万3千円でした。これに対して積立額は4億9,311万6千円でした。したがって、基金の増加額は147万3千円でありました。

前段申し上げたとおり、これからの2年間は毎年2億円に近い取崩しということが必要というふうに。あくまでも計画でありまして、このとおりにならないと私も思いますが、先ほどの不用額も出ま

すが、逆に盛っていない経費も増えるわけであります。そうすると、どっちが多いのかなということも思います。

いろいろやっていただくのは大変ありがたいことではございますが、基金にも限りがございます、ならば、村長は、今の計画の一番最後の年の令和10年度末には、どのぐらいの基金残高になるとお思いですか。

議長（勝山 正）

日臺村長。

村長（日臺正博）

あくまでも今回の財政計画につきましては、先ほどお話のとおり、実施計画に基づいたものでありますが、村とすれば極力、村の自主財源は確保したいと考えております。

これから様々、道の駅等、村の財政的な負担も増えてくるだろうと思います。その中で、あらゆる努力をしながら財源確保を図っていくというのがまず大前提であります、これまでも観光施設の民営化等、村の一般財源の圧縮を図ってきたところであります。

これからもそれら等も踏まえながら、将来にしっかりと、これから村づくりをしていく皆さんが5年先、10年先、また20年先もしっかりと村づくりができる財源を残していかなければと考えておりますので、その辺もしっかりと頭に置きながら、財政計画というか、村づくり計画に基づく財政計画に取り組んでまいりたいと考えております。

現時点でどのぐらいのというふうに申し上げることはできませんが、可能な限り、将来に向けた財源の確保をしていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

答弁では「あらゆる財源確保を図りながら、可能な限りで残す」ということではございましたが、北信管内のある村長でございますが、災害等の発生、そういうことを踏まえると、1年分ぐらいの基金がなければ難しいと、安心できないということをおっしゃってございました。

そこで、村長はどのぐらいの基金があれば安心だとお考えかお願いをしたいと思っております。

ちなみに、木島平村の令和6年度の予算、それから今後の予算規模も一般会計で40億ということでございますが、お答えをお願いします。

議長（勝山 正）

日臺村長。

村長（日臺正博）

どのぐらいあれば安全かっていうのは、その時点でどの程度必要な事業があるかということで変わってくるだろうと思います。

ただ、最低限ということ言えば、やはり村の予算規模の少なくとも最低でも5%から10%ぐらい財政調整基金にないと予算編成にはかなり苦労するだろうと。逆に言えば、予算編成ができなくなることも考えられると思います。

上限については、先ほど申し上げたとおり、その先どのような事業を想定するかでかなり変わってきますので、その点についてはちょっとなかなか難しい問題で、この場で答えづらいなと思っておりますのでよろしくをお願いします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

村長は任期がございいますが、木島平村は任期がございませぬので、なるべく多く確保できるように、ぜひご尽力をお願いしたいと思います。

3点目の質問で、財政の基本は「入るを量りて出ざるを為す（制す）」というふうに言われております。事業の選択と集中により、もっと歳出削減を図る必要があるのではなからうかと私は思います。そのために、村民の意見を聞くということの立場で、行政改革推進委員会を設置して検討をしていく必要があるのではなからうかと思っておりますが、村長の見解をお聞きします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

社会情勢が大きく変化している状況の中ではありますが、村としては、第7次の総合振興計画に沿って課題解決に向かって取り組んでいく必要があると思っております。

社会福祉費など義務的な経費が増え、村独自の施策に充てる財源が減っている、そういうのが現状かなと思っておりますが、さらに、少子化対策に伴う子育て支援は独自の政策ではありますが、一度始めるとほぼ義務的な経費になり、ますます財政が硬直化して厳しくなる、そんなふうにも思っております。

ただ、DXの推進、それから103万円の壁など国の情勢が不透明な状況のもとで、現時点で行政改革を検討することは難しいのかなと考えております。国が進めておりますDXや地方財政への影響を見極めたいので、必要な場合は行政改革を検討してまいりたいと思っております。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

それでは、村長の答弁に補足して、財政状況を含めた今後の調整方針についてご説明いたします。

財政計画における歳入の中で最も大きい比率を占めている普通交付税は、先ほど申し上げたとおり、長期予測が困難であります。したがって、どうしても少なめに見込んでいかざるを得ないと考えています。そのうえで、特定財源を適正に見込むことに努めており、歳出削減についても、令和7年度の予算編成ではもちろんでございますが、次年度以降も継続的に毎年度の実施計画、予算編成、そして、事業を執行する中で事業費を精査するなど、現在の仕組みの中で進めていく必要があると考えています。

毎年度、決算時点で基金を積立て増ししており、財政健全化比率の4指標についても、今後4年間は早期健全化基準を下回る数値になっておりませぬので、現時点では、行政改革検討委員会についても予定はしてない状況でございます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

現在の財政指標は私も分かります。さりとて現時点の話でございます。木島平村いつまで続くかわ

かりませんが、長期的な視点で、財政運営に努めていただく必要があろうかと思えます。

毎年、行政改革推進委員会を開いている市町村もあるわけでございます。なかなかそれはかみ合わないところがございますので、次の質問に入ります。

今、年収が103万円を超えると所得税がかかることになる年収の壁問題が大きく取り上げられ、注目を集めております。長野県の試算によりますと、県と県内市町村では、単純計算で年569億円の減収になるとの新聞報道がありました。中野市では7億8,000万円といたします。本村財政への影響も心配されるところであります。本村の影響額はどのくらいかお尋ねをしたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

総務課長（丸山寛人）

それでは、103万円の壁に伴う影響の関係のご質問でございますが、令和6年度個人村民税所得割額の額を、今年度は定額減税ございましたが、定額減税前の1億7,000万円とし、また、基礎控除を単純に、今報道で出ております178万円と試算した場合でございますが、本村の減収見込みは約7,000万円程度と推計されますのでお願いします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

3. 創業支援について

8番 山崎栄喜 議員

それでは、3番目、最後の質問に入ります。

創業支援について質問をいたします。

本村の商店や食堂、企業は減少の一途をたどり、働く場所の減少や村の魅力低下に繋がり、村の沈滞ムードに拍車をかけています。この傾向は今後も続くものと思われれます。

そこで、次の点について村長に伺います。

1点目、村には創業する者に対して、対象経費の2分の1以内の額で100万円を上限に補助を行う制度がありますが、過去の実績についてわかる範囲でお聞きをいたします。

また、起業促進のため、補助額の引き上げが必要ではないかと思えますが、見解をお聞きします。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

それでは、私からお答えをいたします。

木島平村創業支援補助金交付要綱に基づきます補助金のこれまでの交付実績につきましては、平成29年から令和5年度までの7年間に9件の交付実績となっております。

内訳は、製造業、旅館業、清掃業、飲食関係で3件、観光サービス業、翻訳通訳業、その他サービス業です。

補助金の引き上げの必要性についてのご質問ですが、ここ最近の交付実績から見る傾向としまして、新たな業種や多様な相談も多く、インターネット環境を活用した事業など、多種多様な事業形態になっております。創業後5年間の事業継続を条件としていることについて、申請段階での継続性の判断が非常に難しいなどの課題もあります。

こうしたことから、現在、補助金の要件の見直しを検討しているところであり、創業の初期投資的

な制度、金額も含めて見直しを行うとともに、事業継続要件を短くし、より多くの方が制度を利用できる制度としていきたいと考えているところです。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

件数がどんどん減っていく非常に寂しい状態でございますので、見直しをぜひ図っていただきたいと思います。

2点目の質問ですが、空き家や空き店舗、現在使用されていない村有地の農業庚倉庫跡地や道の駅の使用していない土地を有効活用して、空き家対策、産業振興、移住者を呼び込むためにも用地取得や借入に対する助成、固定資産税の減免など、企業誘致のための制度を拡充し、起業を促す必要があると考えますが、見解をお伺いします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

企業誘致のご質問については、今までもお答えさせていただいたところではありますが、第7次の総合振興計画での「多様な産業が活力を生み出す」ことを基本目標3としており、創業支援と合わせた新たな事業者の支援を行っていきたいと考えております。

空き家を活用した創業支援を検討してはどうかということではありますが、空き家に関する現行の補助制度として、空き家活用補助金がありますが、これは定住を目的に、空き家を住居として取得する場合に補助金を交付するものでありますが、店舗など事業用に供する場合は対象となっております。

議員おっしゃるとおり、空き家等を活用した創業支援は、空き家対策の一つともなり得ますので、これを支援する制度の創設を考えたいと思っております。

また、道の駅の敷地を有効活用できないかというご質問ではありますが、現在、再整備計画を検討しております。この計画との整合性を図る必要がありますが、議員ご指摘のとおり、敷地に余裕があれば、その有効活用を積極的に行うべきだと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

ただいま答弁いただきましたが、用地取得や借入金に対する助成であるとか、固定資産税の減免についての答弁がございませんでしたので、お答えをお願いします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

村長（日碁正博）

補助金だけでなく固定資産税のつという話ではありますが、これらについては、またいろいろ議論があるところだと思います。全体的な支援体制を考える中で検討していきたいと思っております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

道の駅の関係でございますが、道の駅に関しては、隣の市ではアウトドア商品を販売する有名店が同じ敷地内に出店をしております。また、村長は今までの答弁の中で「別に考える」というふうにおっしゃいましたが、6次産業施設もそこにあった方が魅力的であろうかと私は思いますが、その辺についてのお考えをお願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

村長（日墓正博）

6次産業につきましては、村の中で大きな課題だと思っておりますし、また、しっかり対策を整えなければならないことと思っておりますが、現在、道の駅での6次産業課については考えておりません。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

最初の答弁の中で、テレワークという話も若干ありましたが、時代はそういう時代であります。こういう問題については、私も前にも質問したことがございましたが、それに対応する制度というものが木島平村にないわけでございますが、やはり、起業についてはいろんな在り方がございます。

先ほど店舗活用っていう答弁もございましたが、居住しなくてもそういうことも考えられるわけです。実際に、木島平村民で隣の市に店舗を構えていると、飲食店を構えているという人もいらっしゃいますので、ぜひ制度の拡充を前向きにお願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

湯本産業課長。

産業課長（湯本寿男）

それでは、多様な事業者の支援ということでお伺いしたという理解でお答えをいたします。

道の駅の関係では、今現在、チャレンジショップというような文字も構想の中に出てきております。リモートワークにつきましては、それぞれ通信環境も整っておりまして、自宅ですとかいろいろなところをご利用、ご活用いただいている状況もありますので、新たな創業支援というような形で、例えば村ですとか県ですとか、商工会とかも連携しましてどのような対策ができるのか、また検討していきたいと思っております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

隣の市もそういう制度を設けているところがありますので、ぜひ参考をお願いをしたいと思います。以上で、私の質問を終わります。

議長（勝山 正）

以上で、山崎栄喜議員の質問は終わります。

(終了 午後1時30分)

議長(勝山 正)

ここで暫時休憩とします。

再開は、午後1時40分とします。

(休憩 午後1時30分)